

中医学の感染対策

中医学で考える感染対策は、まず自身の防衛力を高めることです。

「衛気」というバリアの役目をしている「気」があると考えます。衛気を強くすると皮膚や粘膜が丈夫になり、菌やウイルス、花粉、気圧の変化など、外的刺激に強くなります。

阿部 佐知子の

国際中医師

続



した生薬としても知られています。

そして入ってきたものを体の外に追い出す治療には解表薬を使います。葛根湯や麻黄湯は寒気が強い時に使う解表薬です。どの痛みや炎症が強ければ金鈴感冒散(きんれい)を使用します。

<第六十六話>

そのための基本処方

解毒薬です。清熱解毒薬にはたくさんの生薬がありますが、板藍根(ばんらんこん)、金銀花(きんぎんか)、蒲公英(ほういふうさん)です。屏風のように外敵をシャットアウトすることから命名された処方ですが、流行したときに活躍

自分のできる対策として、これくらいを揃えておくことも役立つと思います。

が玉屏風散(ぎよくへんふうさん)です。屏風のように外敵をシャットアウトすることから命名された処方です

はSARSコロナウイルスが流行したときに活躍

◆飯島仁生堂薬局本店
足立区千住1-29-2
☎33881・2273
<http://www.jinseido.co.jp>